

## KT-SUB Ver 1.0 追加・変更点の説明 (2010年6月)

(株)構造システム

製品&サポート部門

FAX 03-3235-6620

[bus-support@kozo.co.jp](mailto:bus-support@kozo.co.jp)

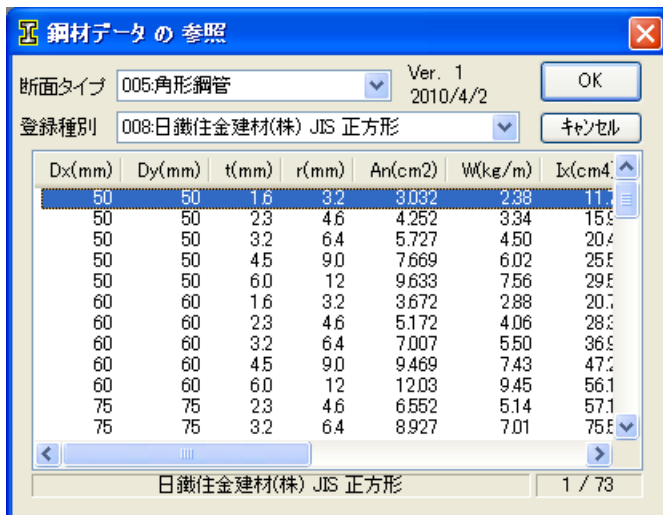
製品の更新によりつぎの機能が追加・変更されました。

### Ver 1.0.0.15

---

#### (1)鋼材データベース

鋼材データベースに、角形鋼管（日鐵住金建材株式会社）を追加しました。



The screenshot shows a software window titled "鋼材データの参照" (Steel Data Reference). It contains a table with columns: Dx(mm), Dy(mm), t(mm), r(mm), An(cm<sup>2</sup>), W(kg/m), and Ix(cm<sup>4</sup>). The table lists various specifications for square steel pipes. The first row is highlighted in blue.

Dx(mm)	Dy(mm)	t(mm)	r(mm)	An(cm <sup>2</sup> )	W(kg/m)	Ix(cm <sup>4</sup> )
50	50	1.6	3.2	3.032	2.38	11.7
50	50	2.3	4.6	4.252	3.34	15.9
50	50	3.2	6.4	5.727	4.50	20.4
50	50	4.5	9.0	7.669	6.02	25.8
50	50	6.0	12	9.633	7.56	29.8
60	60	1.6	3.2	3.672	2.88	20.7
60	60	2.3	4.6	5.172	4.06	28.9
60	60	3.2	6.4	7.007	5.50	36.9
60	60	4.5	9.0	9.469	7.43	47.2
60	60	6.0	12	12.03	9.45	56.1
75	75	2.3	4.6	6.552	5.14	57.1
75	75	3.2	6.4	8.927	7.01	75.8

#### お問合せ先

日鐵住金建材株式会社

- ・ 建築商品事業部門 建材営業部

TEL 03-3630-2138

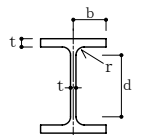
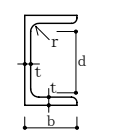
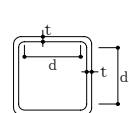
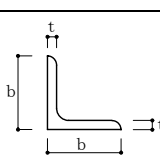
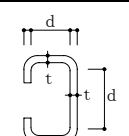
FAX 03-3630-2159

- ・ ホームページ

<http://www.ns-kenzai.co.jp/>

(2)幅厚比の規定を日本建築学会「鋼構造設計規準—許容応力度設計法—」に変更しました。  
幅厚比の規定は以下のとおりです。

表 対象となる形状タイプ

		間柱 縦胴縁	左記以外	図
1:H形鋼	フランジ	②	同左	
	ウェブ	③	④	
2:みぞ形鋼	フランジ	②	同左	
	ウェブ	③	④	
3:角形鋼管		③	④	
4:等辺山形鋼		①	同左	
5:箱形		③	④	
7:軽量C形鋼	フランジ	③	④	
	ウェブ	③	④	
8:軽量角形鋼管		③	④	3:角形鋼管に同じ
9:2 軽量C形鋼 (背合わせ)	フランジ	③	④	7:軽量C形鋼に同じ
	ウェブ	③	④	

※①～④は下記によります。

①：一端が自由で他縁が支持されている板(等辺山形鋼)

$$\frac{b}{t} \leq 0.44 \sqrt{\frac{E}{F}}$$

②：一端が自由で他縁が支持されている板(上記以外)

$$\frac{b}{t} \leq 0.53 \sqrt{\frac{E}{F}}$$

③：両端が支持されている板(圧縮軸力下)

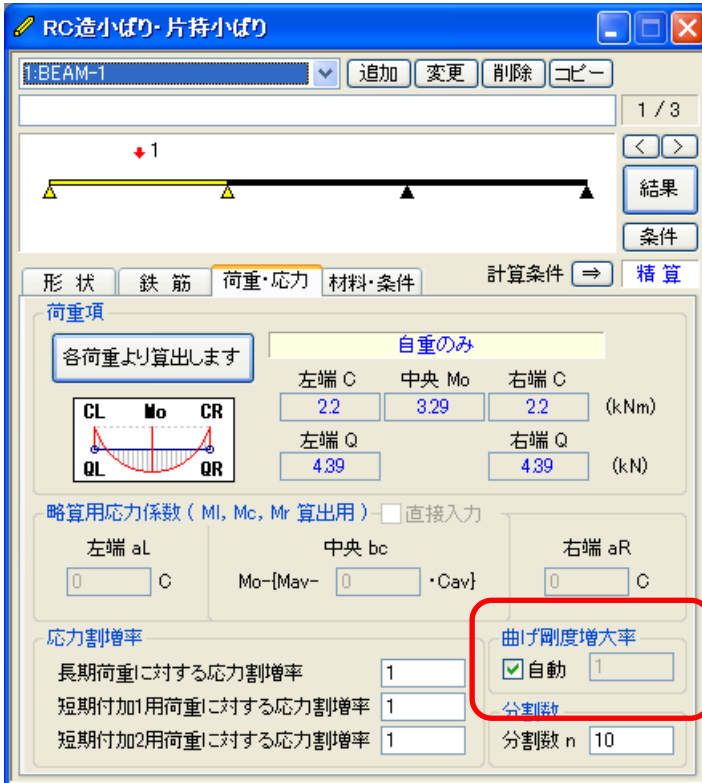
$$\frac{d}{t} \leq 1.6 \sqrt{\frac{E}{F}}$$

④：両端が支持されている板(軸力なし、引張軸力下)

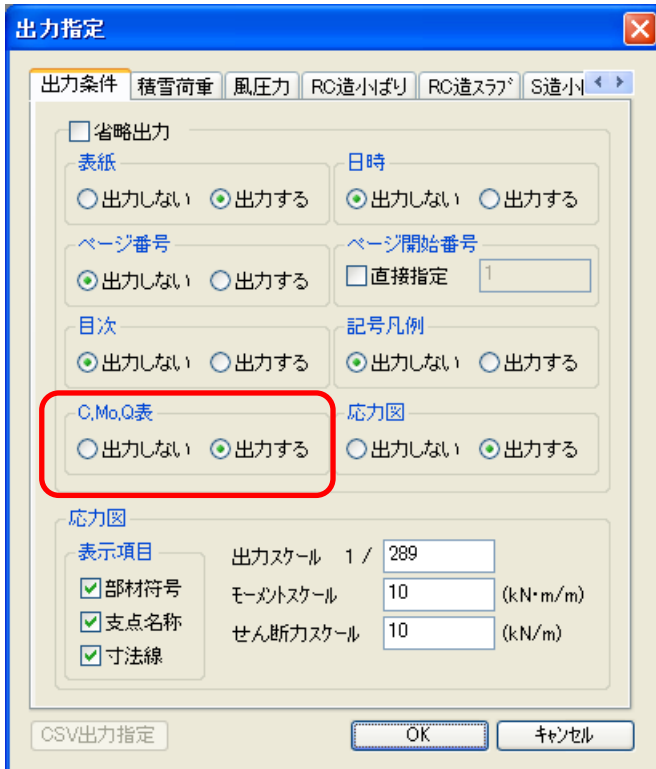
$$\frac{d}{t} \leq 2.4 \sqrt{\frac{E}{F}}$$

(1) 曲げ剛度増大率の直接入力ができるようになりました。

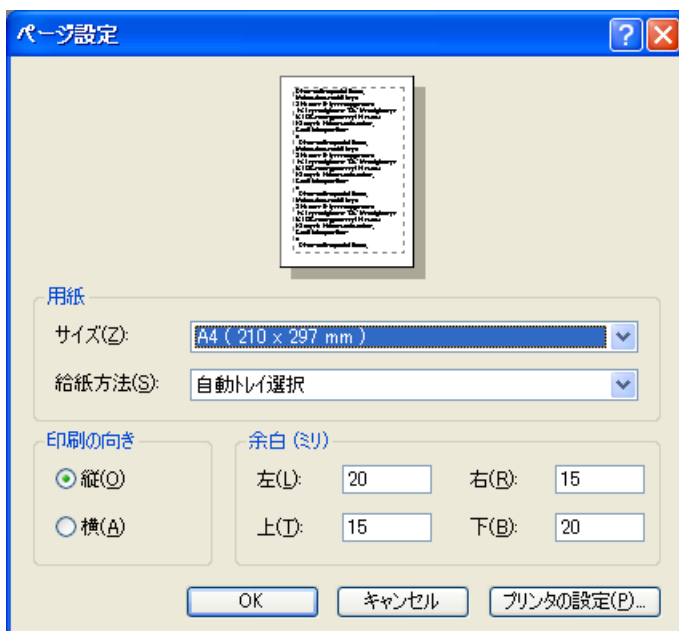
(RC 造小ばり、S 造小ばり、耐風ばり、軸回転小ばり、横胴縁、母屋、間柱、縦胴縁)



(1)C,Mo,Q 表の計算結果出力を追加しました。  
出力指定の設定で C,Mo,Q 表の出力指定ができます。



(2)ページ設定  
ページ設定に用紙とプリンタの設定を追加しました。



(1)鋼材データベース

鋼材データベースに、角形鋼管（JFE鋼管株式会社様）を追加しました。



Dx(mm)	Dy(mm)	t(mm)	r(mm)	An(cm <sup>2</sup> )	W(kg/m)	Ix(cm <sup>4</sup> )	Iy(cm <sup>4</sup> )
150	150	6	15	33.32	26.2	1130	1130
150	150	9	22.5	47.98	37.7	1540	1540
150	150	12	30	61.3	48.1	1850	1850
175	175	6	15	39.32	30.9	1840	1840
175	175	9	22.5	56.98	44.7	2550	2550
175	175	12	30	73.3	57.5	3120	3120
200	200	6	15	45.32	35.6	2800	2800
200	200	8	20	59.24	46.5	3570	3570
200	200	9	22.5	65.98	51.8	3920	3920
200	200	12	30	85.3	67	4860	4860

お問い合わせ先

JFE鋼管株式会社

・東京事務所

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-7-3（タームスビル 6F）

TEL 03-5298-0101（代）

FAX 03-5298-0102

・本社

〒299-0107 千葉県市原市姉崎海岸 7-1

TEL 0436-62-8111

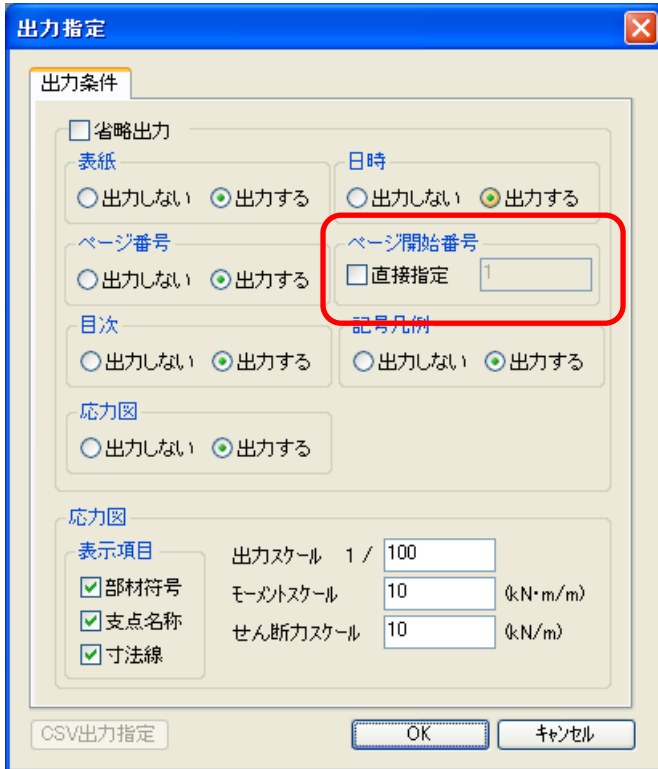
FAX 0436-62-5814

・ホームページ

<http://www.jfe-wp.co.jp/index.html>

(1)出力指定

開始ページ番号の指定をできるようにしました。

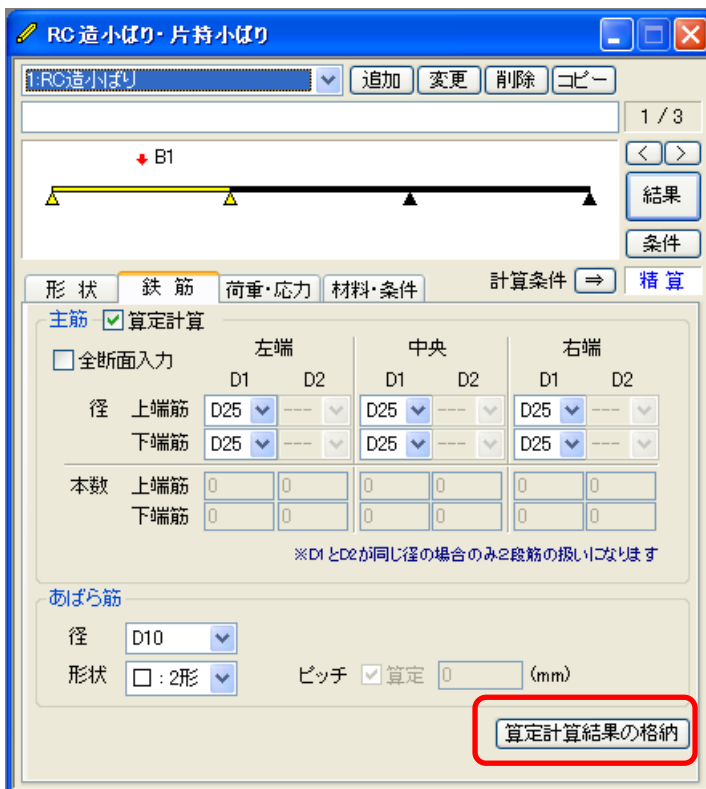


(2)計算結果出力のページ位置

ページ番号出力位置を BUS-5、WALL-1 と同様にページ右下に移動しました。

### (3)算定計算結果の格納 (RC 造小ばり)

算定計算結果の配筋情報を検定計算データとして格納します。



		左端		中央		右端	
		D1	D2	D1	D2	D1	D2
径	上端筋	D25	---	D25	---	D25	---
	下端筋	D25	---	D25	---	D25	---
本数	上端筋	0	0	0	0	0	0
	下端筋	0	0	0	0	0	0

※D1とD2が同じ径の場合のみ2段筋の扱いになります

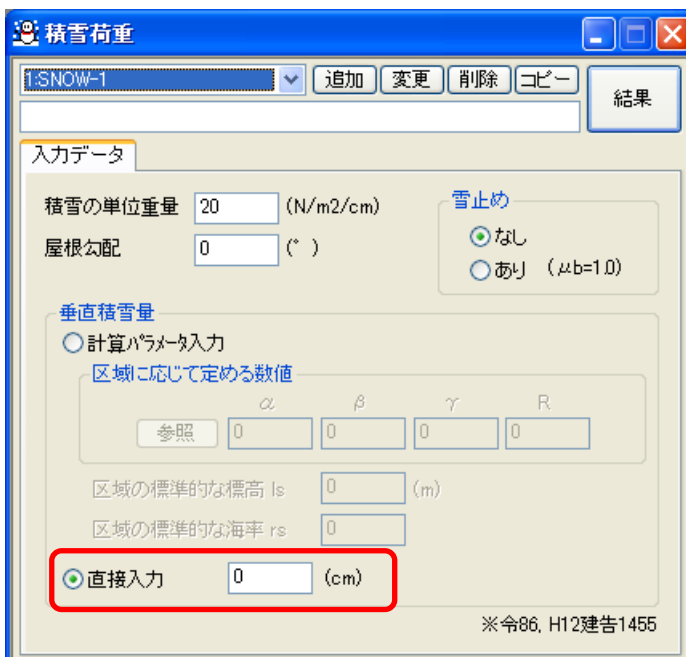
あばら筋  
径: D10  
形状: □: 2形  
ピッチ:  算定 0 (mm)

算定計算結果の格納

## Ver 1.0.0.9

### (1)垂直積雪量 (積雪荷重)

垂直積雪量を直接入力できるようにしました。



積雪の単位重量: 20 (N/m2/cm)

屋根勾配: 0 (°)

雪止め:  なし  あり (μb=1.0)

垂直積雪量

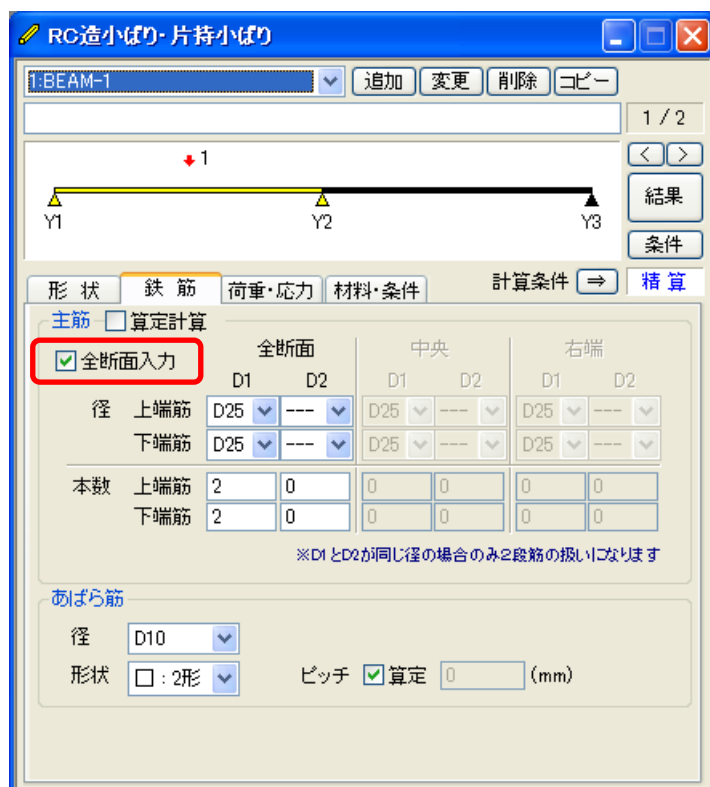
計算パラメータ入力

直接入力 0 (cm)

※令86, H12建告1455

## (2) 主筋の全断面入力への指定 (RC 造小ばり)

主筋の入力で全断面入力を指定できるようにしました。



## Ver 1.0.0.8

### (1) ライセンス認証方法

Ver. 1.0.0.8 から、以下の製品が一緒になっております。

「スタンドアロン版」: ハードプロテクト (HASP) を使用する形態の製品です。

( 通常製品版を購入した場合はこちらを選択してください )

「ネットワーク版 (k-Server)」: LANを利用して” k-Server プログラム” を実行している PC から使用許可を得て起動する形態の製品です。

( k-Server の 導入と製品ライセンスの購入が必要になります )

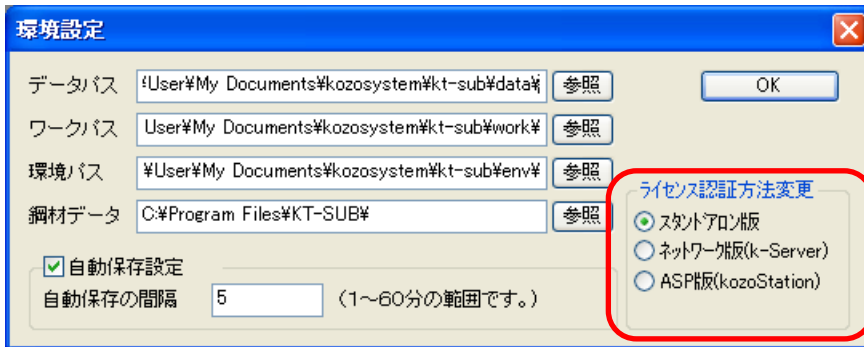
「ASP 版 (kokoStation)」: インターネット上にある当社の「ASP サーバ」を利用した 1 週間レンタルサービス用の製品です。

( インターネットに接続できる環境が必要となります )



## ライセンス認証方法の切り替え

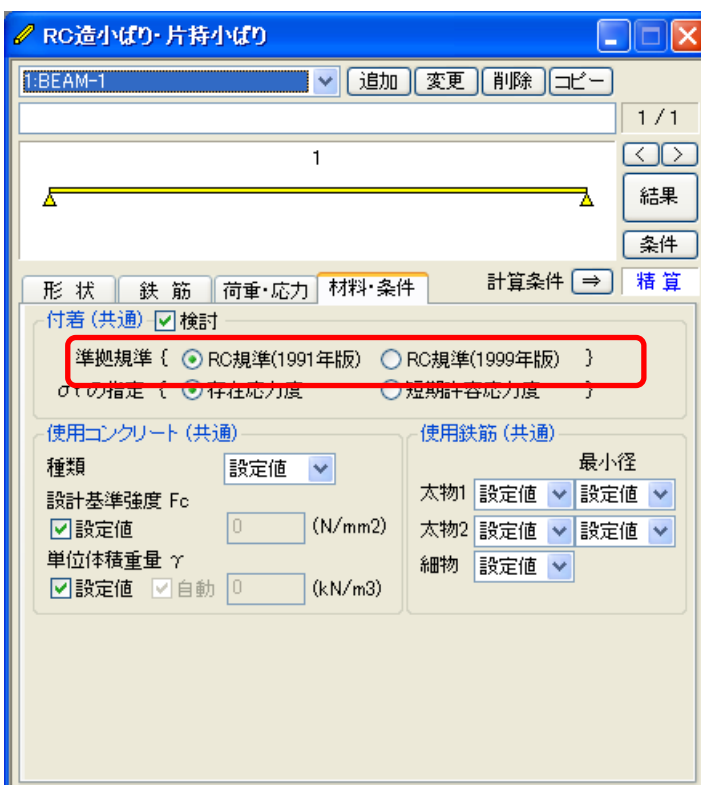
セットアップ作業終了後、KT-SUB プログラムの初回起動時に環境設定ダイアログを表示します。データを保存する場所や、ライセンス認証方法を変更できます。



※初回起動時設定以降にライセンス認証方式を変更する場合は、プルダウンメニューから[ヘルプ]→[ライセンス認証方法の変更]を選択して、ライセンス認証方法の変更ダイアログから変更してください。

## (2) 付着の検討で準拠規準の指定 (RC 造小ばり)

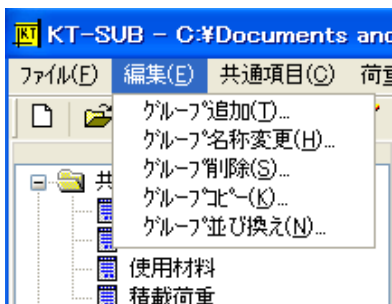
付着の検討で準拠規準を指定できるようにしました。



Ver1.0.0.8 以降では新規データ作成時の準拠規準の初期値は「RC 規準(1991 年版)」となります。  
Ver1.0.0.7 以前に作成した既存データを開いた場合は、Ver1.0.0.7 以前で採用していた「RC 規準(1999 年版)」となります。

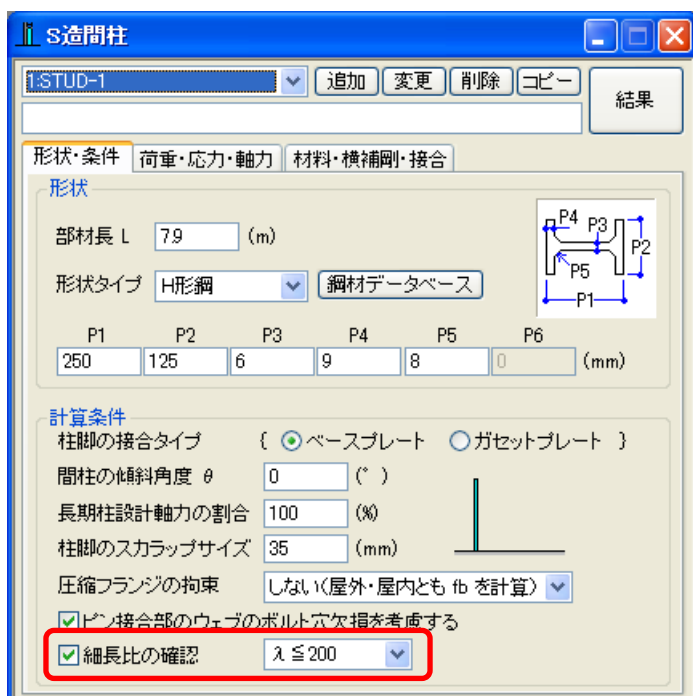
(1) グループの追加・削除・コピーやグループ名称の変更

メニューバーからもグループの追加・削除やグループ名称の変更などを行うことができるようにしました。また、グループデータの並び換えを行うことができます。



(2) 細長比の確認 (S 造間柱)

細長比の確認を行えるようにしました。条件を満たさない場合は計算結果にエラーメッセージが表示されます。



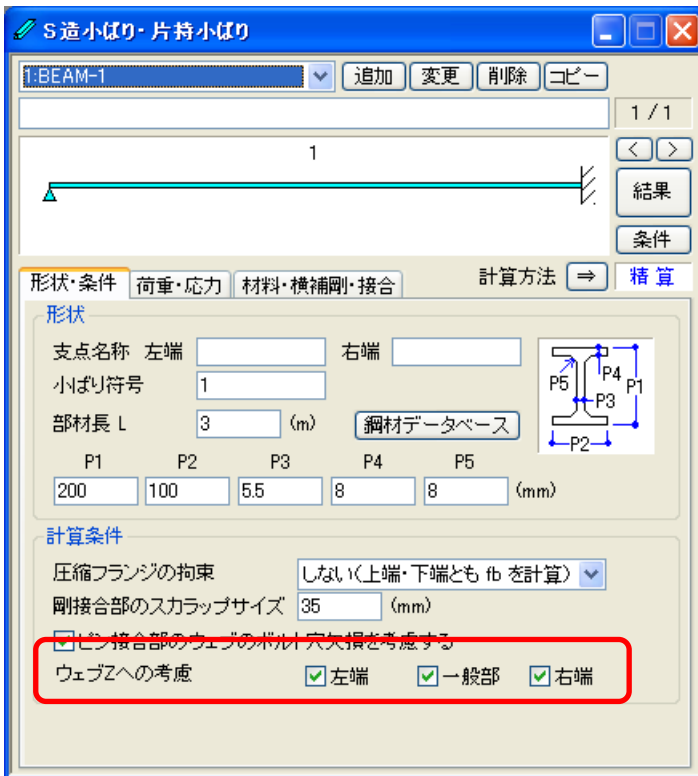
(3) 弱軸方向支持点 (S造間柱、S造縦胴縁)

lk (圧縮材の座屈長さ) 計算用の支持点を入力できるようにしました。

(1) ウェブ Z への考慮 (S 造小ばり)

曲げ耐力の計算でのウェブの扱いを指定できるようになりました。

ウェブを考慮する場合はチェックボックスをオンにします。考慮しない場合はオフにします。



## Ver 1.0.0.3

---

### (1) ライセンス認証方法

Ver. 1.0.0.3 から、以下の製品が一緒になっております。

「スタンドアロン版」：ハードプロテクト（HASP）を使用する形態の製品です。

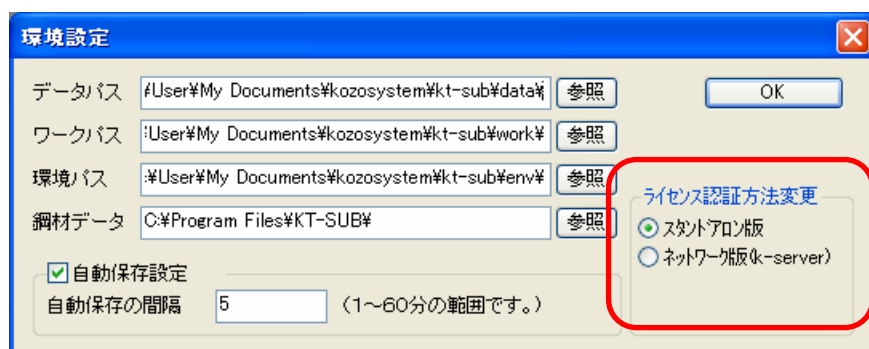
（通常製品版を購入した場合はこちらを選択してください）

「ネットワーク版（k-Server）」：LANを利用して”k-Server プログラム”を実行しているPCから使用許可を得て起動する形態の製品です。

（k-Server の導入と製品ライセンスの購入が必要になります）

### ライセンス認証方法の切り替え

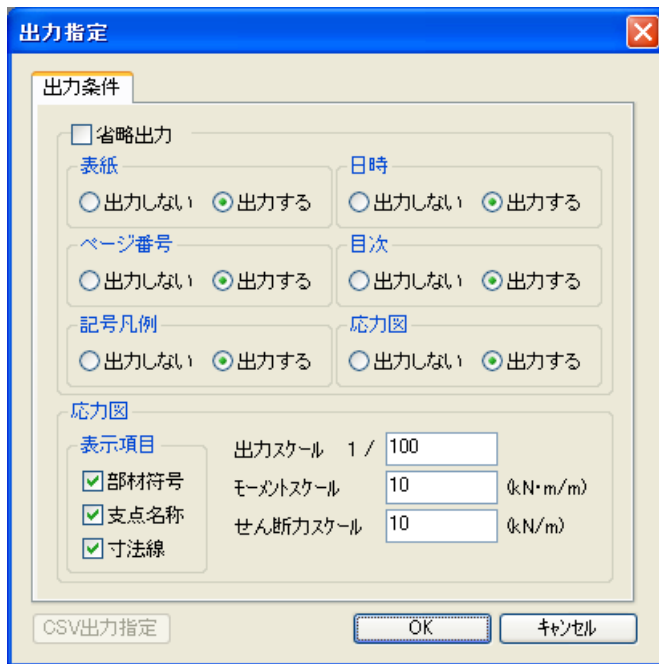
セットアップ作業終了後、KT-SUB プログラムの初回起動時に環境設定ダイアログを表示します。データを保存する場所や、ライセンス認証方法を変更できます。



※初回起動時設定以降にライセンス認証方式を変更する場合は、プルダウンメニューから[ヘルプ]→[ライセンス認証方法の変更]を選択して、ライセンス認証方法の変更ダイアログから変更してください。

(2) 出力条件の変更

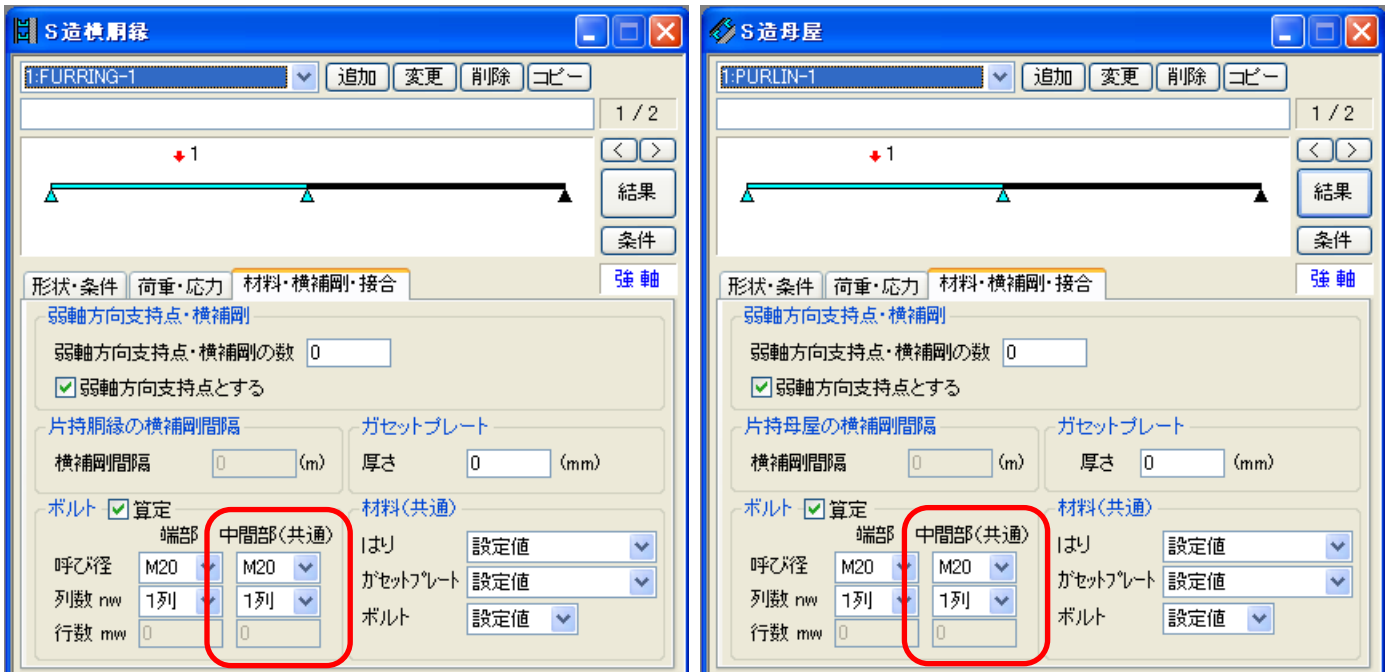
出力条件に、目次、記号凡例、応力図、省略出力の出力指定を追加しました。



Ver 1.0.0.1

(1) 中間部のウェブボルト (S 造横胴縁、S 造母屋)

中間部 (剛接合部) のウェブボルトの入力を追加しました。



(2)小ばり、床、壁の傾斜角度 (S 造軸回転小ばり)

傾斜角度の範囲を「 $-90 \leq \theta, \beta 1, \beta 2 \leq 90$   $\theta \leq \beta 1$ 」としました。

**新規 軸回転小ばりの設定**

小ばり

小ばりスパン数

小ばり符号  ※末尾に番号が付きます

支持状態

最左端  最右端

条件  $(-90 \leq \theta, \beta 1, \beta 2 \leq 90 \quad \theta \leq \beta 1)$

小ばりの回転角度  $\theta$   (°)

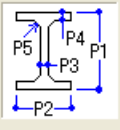
二次小ばり、床、壁の傾斜角度

手前側  $\beta 1$   (°)

奥側  $\beta 2$   (°)

形状

部材長 L  (m)



P1	P2	P3	P4	P5
<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>

(mm)

**条件**

支持状態

最左端  最右端

条件  $(-90 \leq \theta, \beta 1, \beta 2 \leq 90 \quad \theta \leq \beta 1)$

小ばりの回転角度  $\theta$   (°)

二次小ばり、床、壁の傾斜角度

手前側  $\beta 1$   (°)

奥側  $\beta 2$   (°)

